

令和6年度学校安全指導者研修会 開催報告 | 開催概要

各地域における学校安全に関する研修講師等となる者に対して、効果的な研修会実施に関する必要な知識などを習得させ、各地域における研修会の質の向上を図ることを目的として令和6年度学校安全指導者研修会を実施しました。

開催概要

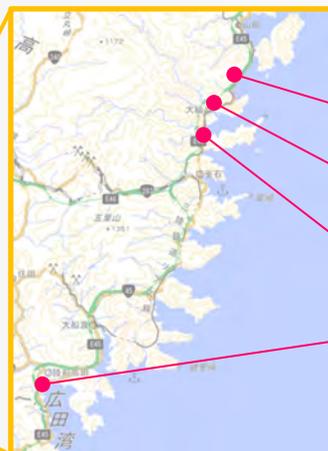
実施日：令和6年11月14日(木)・15日(金)
 開催場所：岩手県(釜石市・大槌町・山田町・陸前高田市)
 主催：文部科学省
 参加者：76名※

※各都道府県・市区町村教育委員会の学校安全に関する指導担当者、学校教職員(学校安全の推進をするための中核となる教職員)

研修カリキュラム

1日目(11/14)		
研修	テーマ	研修講師等
研修① 講義(75分)	東日本大震災の 教訓を学ぶ	加藤 孔子氏 (元 釜石市立釜石小学校 校長) 阿部 重人氏 (元 陸前高田市立米崎中学校 校長) 村上 洋子氏 (元 釜石市立釜石東中学校 副校長) 工藤 良裕氏 (元 岩手県立高田高校 校長)
研修②-1 講義・視察(105分)	釜石市での 現地視察・講話	いのちをつなぐ未来館
研修②-2 講義・視察(105分)	大槌町での 実践例視察	【大槌学園での視察】 吉田 智氏 (大槌町教育委員会事務局 学務課 課長) 【大槌高校での視察】 伊藤 晃氏 (岩手県立大槌高等学校 副校長) 復興研究会の生徒さん
自由参加ナイトプログラム 講義(60分)	大槌町における 学校再開と心のケア	森本 晋也氏 (岩手県立図書館 館長, 前 文部科学省安全教育調査官) 南 景元氏 (大槌町スクールソーシャルワーカー)
2日目(11/15)		
研修③-1 視察(60分)	陸前高田市での 施設見学	東日本大震災津波伝承館
研修③-2 講義・視察(60分)	気仙中学校での 現地視察・講話	鈴木 秀行氏 (一関市教育委員会教育研究所学習指導専門員, 元 陸前高田市立気仙中学校 副校長)
研修④ 講義(50分)	災害を語り継ぐ 防災教育について学ぶ	森本 晋也氏 (岩手県立図書館 館長, 前 文部科学省安全教育調査官)
研修⑤ ワークショップ(80分)	グループ討議 「学校安全の推進について」	進行：社会安全研究所

研修先



陸中海岸青少年の家

大槌町立大槌学園
岩手県立大槌高校

いのちをつなぐ未来館

東日本大震災津波伝承館
旧気仙中学校跡

研修①

東日本大震災の教訓を学ぶ

東日本大震災を教職員として体験された4名の方々から、当時のお話や事前に行っていた対策などをご紹介いただき、東日本大震災の教訓を学びました。



バス車内での講話



質疑応答の様子

研修②-1

釜石市での現地視察・講話 (いのちをつなぐ未来館)



避難路追体験



いのちをつなぐ未来館の施設見学

「いのちをつなぐ未来館」と追悼施設について、語り部の講話とともに見学しました。また、釜石東中学校などの児童・生徒が避難した「津波避難路」の追体験を通して、震災当時の出来事を学びました。

研修②-2

大槌町での実践例視察 (大槌学園・大槌高校)

震災の教訓を受けて進められている、現在の大槌学園・大槌高校における先進的な防災教育・復興教育の取組について学びました。また、大槌高校の復興研究会の生徒による取組の紹介・防災ゲーム クロスロードを行いました。



大槌高校 復興研究会の発表



大槌学園の視察

自由参加ナイトプログラム

大槌町における学校再開と心のケア



学校再開に関する講話



SSWとしての取組に関する講話

震災当時、大槌町の学校再開に関わられた講師2名(森本氏、南氏)から、学校再開に係る当時の状況や体験、スクールソーシャルワーカー(SSW)として復興に携わられた経験などをご紹介いただきました。

研修③-1

陸前高田市での施設見学

(東日本大震災津波伝承館)

「東日本大震災津波伝承館」を視察し、語り部からお話を伺い、館内を見学することで当時の岩手県内の状況やそこから得られた教訓を学びました。



伝承館の視察・語り部の講話



伝承館の視察・語り部の講話

研修③-2

気仙中学校での現地視察・講話

(旧気仙中学校跡)

被災した中学校の校舎(旧気仙中学校跡)を前に、震災当時教職員として生徒とともに避難された鈴木氏からの講話を通じて、学校現場における津波来襲時の対応状況を詳しく学びました。



被災した校舎の前の講話



被災した校舎の視察

【車中視察】

陸前高田市内を移動中、岩手県立高田高等学校「希望の鐘」及び震災遺構「米沢商会ビル」をバス車内より視察しました。



希望の鐘



米沢商会ビル

研修④ 災害を語り継ぐ防災教育について学ぶ

「いわての復興教育」を中心に、いのちを守るための教育を森本氏よりご紹介いただきました。また、復興教育の様々な取組事例の紹介を通して、将来の地域社会を担う人材の育成を含めた内容をお話いただき、幅広く防災教育について学びました。



講話の様子



講話の様子

研修⑤ グループ討議「学校安全の推進について」



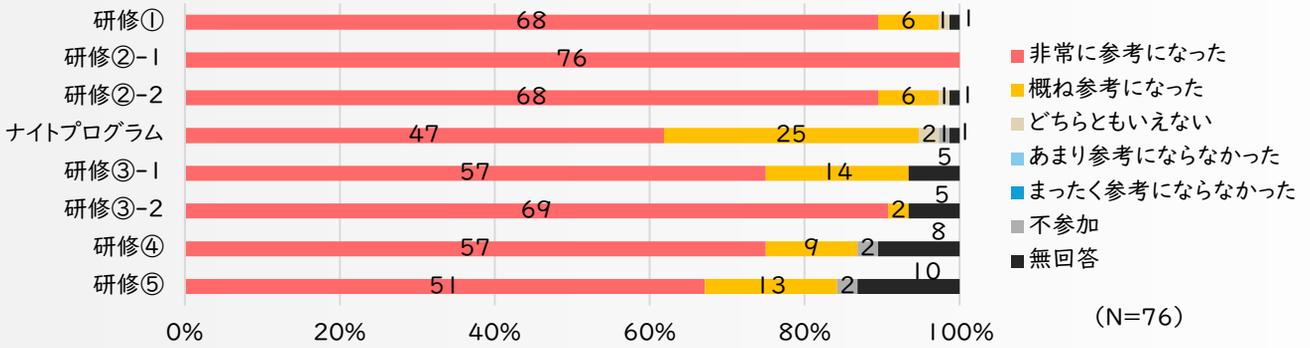
グループでの討議



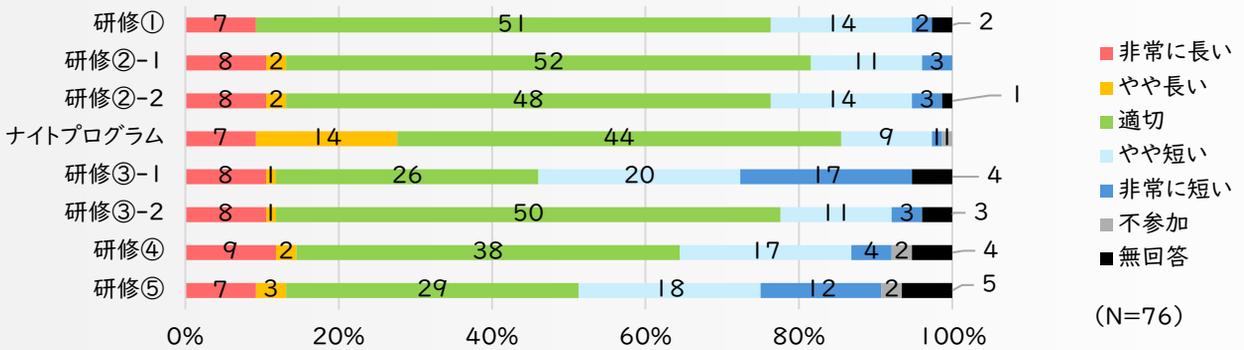
他の班との情報共有

学校安全の推進に関して、各自の課題を共有・整理し、課題解決策をグループで協議しました。協議した結果はほかの班とも共有し、理解を深めました。最後に、今後の学校安全に関する取組を検討し、各班で発表しました。

問：各地域において研修会を実施するにあたり参考となったか。



問：研修会の各プログラムの時間は適切だったか。



問：本研修会の内容を、各地域で行う研修会や所属学校園での学校安全に関する取組に生かしていきたいか。



問：本研修会において特に参考になった点はなにか。（自由記述）

- 現地の様子や実際に体験した方、それを伝承しようとする方や高校生の生の声を聞くことができたこと。
- 災害にあわれた方からの直接のお話は、頭の理解でなく、心にひびいた。
- 発災の時に、対応された管理職、教員の先生方のお話が聞けて大変参考になった。
- 学校と地域が一体となった防災教育の在り方がとても参考になった。
- 子どもたちの心に残る・響く、防災教育の在り方を現場がしっかり考えて、実行することの大切さがわかった。

※一部抜粋

問：研修会の内容を、今後の学校安全にどのように生かしていきたいか。（自由記述）

- 本研修の内容を教員と共有し、学校全体で考えられる組織作りをしていきたい。
- 各種研修会での情報提供、次年度の研修会の内容を検討する際の参考としたい。
- より実効性のある防災避難訓練ができるよう、学校現場向けのガイドラインなどの作成や周知を試みたい。
- 現場の学校安全の取組が少しでもアップデートされるように意識を高められる情報提供をしたい。
- 社会のつながりも意識した学校安全について考えていきたい。

※一部抜粋